

○ 9 番（黒田真徳）（登壇） 皆様、こんにちは。公明党議員団の黒田です。

それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

初めに、歳入確保戦略についてお伺いします。これからの新居浜市の財政見通しについて、歳入面では、生産年齢人口の減少に伴い、税収の縮小が予想される一方、歳出面では、社会保障費、公共施設の老朽化対策への費用が増加していきます。市政運営において、財政構造の硬直化を防ぐためにも、自主財源の確保ということが非常に重要になります。今後、明確な歳入確保戦略なくして、歳入増を実現していくことは至難の業であります。

そこで歳入確保戦略を見直し、歳入増に向けた取組につきまして、市の御所見を伺います。

自主財源の確保について、1点目に基礎的な歳入の確実な確保、2点目に新たな発想による積極的な歳入の確保、3点目に地域経済活性化による税収の向上についてお伺いします。3点目は市民所得向上の促進と市内経済循環の活性化についてお伺いします。

○議長（小野辰夫） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） 公明党議員団代表の黒田議員さんの御質問にお答えいたします。

歳入確保戦略についてでございます。まず、基礎的な歳入の確実な確保に向けた取組についてお答えいたします。

本市財政の歳入の根幹をなす市税につきましては、個人所得の状況や企業の業績、税制改正の動向等を勘案し、的確に収入を見込むとともに、課税客体の捕捉漏れがないよう努め、より一層の徴収率向上を図るため、滞納整理の早期着手と計画的な取組を行ってまいります。

次に、新たな発想による積極的な歳入の確保についてでございます。

現在、ふるさと納税や企業版ふるさと納税、ガバメントクラウドファンディングなど、積極的な寄附市場からの歳入確保に努めているところでございます。今後におきましては、ふるさと納税返礼品等の特産品の開発に取り組むとともに、（仮称）にはま版営業本部を設置し、私自身のトップセールスと職員をはじめ、本市にゆかりのある関係者による積極的な情報発信、販路開拓に取り組んでまいります。

次に、地域経済活性化による税収の向上についてでございます。

市民所得向上の促進につきましては、現在、給与所得が上昇傾向にあり、本市における就業機会の確保に取り組むことが有効であり、市内経済循環の活性化につきましては、域内取引の拡大や域内消費の促進が市内経済の好循環につながるものと認識いたしております。このことから、企業立地促進条例に基づく奨励金制度等を通じて、企業誘致・留置及び立地の促進を図るとともに、企業説明会の開催などにより、産業を支える人材の確保に努めてまいります。

今後におきましても、引き続き安定的な財政基盤の構築に向け、歳入確保に取り組んでまいります。

○議長（小野辰夫） 黒田真徳議員。

○９番（黒田真徳）（登壇） ありがとうございます。よろしくお願いいたします。